

(案)

第六次国有林野施業実施計画書

(那賀・海部川森林計画区)

計画期間 自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 11 年 3 月 31 日

四国森林管理局

目次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	1
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	3
	(6) 保育総量	3
3	特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	3
4	林道の整備に関する事項	4
5	治山に関する事項	4
6	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	5
	(1) 保護林の名称及び区域	5
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	5
7	樹木採取区の名称、所在地及び面積	5
8	レクリエーションの森の名称及び区域	6
9	国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項	6
	(1) 森林共同施業団地の名称及び区域	6
	(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	6
10	その他必要な事項	6
	(1) 施業指標林、試験地等	6
	(2) フィールドの提供	7
	(3) その他	7

※ 本計画書内の集計表に関して共通する注釈
単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群		林地面積	取扱いの内容	伐期齢
施業群	スギ分散伐区	358	育成単層林施業 概ね5ha以下	45年
	スギ長伐期	737	〃 〃	130年
	ヒノキ長伐期	23	〃 〃	100年
	スギ長伐期複層林	170	育成複層林施業	130年
	ヒノキ長伐期複層林	3	〃	100年
	択伐	1,012	天然生林施業	定めない
合計		2,303		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	40	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区、ぼう芽分散伐区
長伐期施業	29	スギ長伐期、ヒノキ長伐期
複層林施業	13	複層林、スギ長伐期複層林、ヒノキ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	—	3,102 (19)	3,102				
自然維持タイプ	—	—	—				
森林空間利用タイプ	—	681 (4)	681				
水源涵養タイプ	スギ分散伐区	14,317	7,569 (51)	21,886			
	スギ長伐期	—	21,154 (138)	21,154			
	ヒノキ長伐期	—	—	—			
	スギ長伐期 複層林	1,915	16,276 (118)	18,191			
	ヒノキ長伐期 複層林	—	180 (2)	180			
	択伐	—	—	—			
	設定外	—	—	—			
	計	16,232	45,179 (309)	61,411			
合 計	16,232	48,962 (331)	65,194	3,580	68,774	—	68,774
年平均	3,246	9,792 (66)	13,039	716	13,755	—	13,755

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
那賀町	7,957	26,126	34,083				
海陽町	8,275	22,836	31,111				
計	16,232	48,962	65,194				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人 工 造 林	単層林造成	—	—	—	—	37	37
	複層林造成	—	—	—	—	4	4
	計	—	—	—	—	41	41
天 然 更 新	天然下種第1	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2	—	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	41	41

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	—	—	—	—	65	65
	つる切	—	—	—	—	—	—
	除 伐	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	65	65

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位：ha)

所在地（林小班）		面積
100	は1	39.96
104	ろ2	
106	い1、い2、い3、ろ1	
116	い5	
117	は、に	
147	ろ、ろ1	

4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長	備 考
開設			該当なし		
基幹	改良	雲早	93・97～98・105～106、民地	50	
		基幹計	1箇所	50	
その他	改良	請ヶ峰	114～117	150	
		その他計	1箇所	150	
改 良 計			2箇所	200	
合 計			2箇所	200	

5 治山に関する事項

位 置 (林班)	区 分	工 種	計 画 量
104、105、106、113、114	保安林の整備	その他 (森林整備)	106.90ha
[95～107、146、147]、[113～117]、 [138]、[153、154]	保全施設	溪間工	4箇所
[95～107、146、147]、[110、111]、 [113～117]、[136]、[138]、 [133～135、140]、[141]、[142、143]、[145]、 [153、154]		山腹工	10箇所
合 計	保安林の整備	その他	106.90ha
	保全施設	溪間工	4箇所
		山腹工	10箇所
		計	10箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工が重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。

6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
希少個体 群保護林	やりと 鎗戸シコク シラベ (遺 伝資源)	29.71	140 は、ほ、 と、ち	我が国で最も南に位置する亜寒帯林 を構成するシコクシラベの個体群を 保護。	
	計	29.71			
合計	1箇所	29.71			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：延長 km、面積 ha)

名称	延長	面積	位置 (林小班)	特徴等	備考
四国山地 緑の回廊 ・ 剣山地 区	3	494.91	133～135 全 140 い、ろ、 に、へ、イ	四国の脊梁に位置する剣山を中心 として、東西及び南方面へ延びる国 有林野において、鎗戸シコクシラベ (遺伝資源)希少個体群保護林等の 保護林を連結することにより、森林 の連続性を確保し、森林生態系の一 層の保護・保全を図り、野生動植物 の相互交流に資するなど生物多様 性確保の観点から、より広範で効果 的な森林生態系の保護・保全を目的 として設定。	
合計	3	494.91			

7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし。

8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
自然 休養 林	つるぎさん 剣山	391.02	133 ろ、は、 134 い、ろ、は 135 い、ろ、 140 い、ろ、に、へ	剣山からの 眺望及び稜 線に連なる 高峰からの 山岳美を有 する。	天然 生林 施業	野営場、レ ストハウ ス、駐車 場、歩道、便所 (那賀町)		風景 ゾ ー ン
			133 ロ、 134 イ、ロ、ハ、 135 イ、ロ、ハ、 140 イ		雑地			
計	1箇所	391.02						
風 致 探 勝 林	たかしろやま 高城山	237.52	95 へ、96 へ、 98 に、99 ろ、 100 と、101 ろ、 102 い、ろ、は、に、 103 ろ、は、に	探勝、散策 に適したブ ナを主体と する森林美 を有する。	天然 生林 施業	野営場、レ ストハウ ス、バンガ ロー、駐車 場(那賀町)		
計	1箇所	237.52						
合計	2箇所	628.54						

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

(単位：ha)

名称	対象地 (林小班)		面積	協定の概要
六丁地域森林整備の推進に関する協定	民	とくしま絆の森(六丁の森)	332.15	間伐、 森林作業道開設等
	国	六丁陰傍示国有林 137 林班	91.87	
合計	民		332.15	1 箇所
	国		91.87	

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし。

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等
該当なし。

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
103 い	ふれあい高城の森	実施主体：四国林業土木協会 協定面積：4.59ha 平成 15 年 8 月 6 日に「ふれあい高城の森」として、四国林業土木協会「しこくの森づくりに参加する会」と協定を締結。間伐、広葉樹等の下木植栽など、育成複層林施業を計画

(3) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

位置(林小班)	面積 (ha)	施業方法
103 ほ	8.56	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーションの森、ふれあいの森等協定の森林、施業指標林、試験地等のことである。